

長久小学校
学校だより



ながひさ

なんでも進んで学ぶ子ども

ひとと仲よく助け合う子ども

がまん強くやり抜く子ども

さわやかな笑顔の元気な子ども

2025年6月号

(文責：校長 舟木志郎)

プールがきれいになりました！



プールを使用していない期間も「防火用水」として水をためているプールです。水泳学習に向け、10か月ぶりに水を抜き、5・6年生が掃除をしてくれました。6年生が担当したプールの内側は、壁には苔が生え底には土やいろいろな物がドロドロに溜まっていた。水を流しながらゴシゴシこすり、90分(授業の2コマ)をかけてきれいになりました。こういう作業は辛い面もありますが、役割を分担して一生懸命作業に取り組んでいました。おかげで、6月16日から全校での水泳指導をスタートすることができました。

■連合運動会■



5月23日に、市内の全15小学校が大田小学校に集まり、128回目となる連合運動会を開催しました。各校の5・6年生が「走ること」を通して競い合い、各校の混成チームでの「長縄跳び」や「思いやり対面パス」で交流を深めました。選手に向けた応援も、元気に大きな声を出しておこなっていました。

平日の開催でしたが、たくさんの方の応援をいただき、子どもたちも精一杯取り組むことができました。

■修学旅行■



6月5日～6日、6年生が修学旅行に行きました。川合小・久屋小の6年生との合同修学旅行です。来年、第一中学校で一緒になる者どうし、平和公園や宮島、JFEの工場見学などでの学びやホテルでの生活など、一緒に活動し、充実した時間を過ごしました。

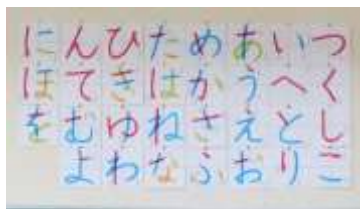
■「インタビューしていいですか？」■



2年生が校長室にインタビューをしに来ました。用意していた質問の紙を見ながら質問し、答えた言葉を一生懸命メモしています。

見学や観察、課題解決に向けた質問をすることなどの活動が、学年が上がるにしたがって増えてきます。「疑問をもつ」「聞く」「記録する」そして「整理する」、「考え」、分かったことを「表現する」ことで、個別の学びを深め、意見を交流することで考えを深めていきます。校長室インタビューもその第一歩です。

■1年生のひらがな学習■



ひらがなの習得が1年生の国語学習の第一歩です。写真は、46文字中

31文字を学習した段階です。右上の「つ」は1画で形も平易ですが、だんだんと画数も増え、形や配置も難しくなってきます。学習の順序については、いろいろな取り組み例がありますが、筆順や形を正しく正確に書くこと、丁寧に書くこと、線の強さ濃さが、今後の学習にも生きてきます。

ネットの情報や書店の幼児向け冊子の中には、4～5歳からのひらがな習得を促す情報がありますし、小学校入学前に「自分の名前が読めて書けるとよい」という説明もしますが、一度覚えてしまった(書けるようになった)文字は、修正が必要な場合、直しが困

難になることもあります。様々な学習の土台としての「正確に」「丁寧に」を大切にしていきたいと思います。

■「間合い」■

小学校の生活には様々な「間合い」があります。

朝、昇降口が開く少し前(7:45頃)には到着し、昇降口前で待つ子どもたちがたくさんいます。一方、8:10頃にやって来る登校班もいます。

坂を上って来た子どもたちに「おはようございます!」と挨拶をするのですが、大きな声で返してくれる子、頭をペコリと下げる子、近くになってから挨拶をしてくれる子、反応のない子、いろいろです。中には坂の上の角を曲がり切らないうちに、先に大きな声で元気な挨拶をしてくれる子もいます。挨拶の「間合い」も様々です。

授業も考えたり調べたりする「静」の時間、意見交換や行動して習得する「動」の時間があります。節目でのけじめをつけるとか、学習や活動と休憩のOnとOffを切り替えるなど、学習の姿勢での「間合い」もあります。

子どもたちの言葉の中には、言った言葉で相手や周りを傷つけたり、敬意の表し方が十分出来ていなかったりすることもあります。これも相手と自分との「間合い」の取り方が未熟な側面でもあります。

小学校は、多様な「間合い」を身につけ、当たり前なのが当たり前になるようになる場です。定型的事とはもちろんですが、時や場の様々な「間合い」を身につけさせていきたいと思います。そのためにも、当たりの「間合い」を、職員をはじめ周囲の大人が見せ、高学年の実践を促していくことを大切にしていきたいと思います。

